



第一回黒埼町武道祭

礼に始まり礼に終わる

いよいよ夏の到来を思わせる暑さの七月十二日(日)、黒埼町体育館で第一回黒埼町武道祭が開かれました。黒埼町には数多くのスポーツ団体がありますが、それぞれの活動が中心で今回のようにまとまった大会は初めてです。

武道祭は、黒埼町体育協会が主催し、町の剣道連盟、柔道連盟、銃剣道連盟、空手の極真流と松涛館流の五つの武道団体が参加しました。

開会式は、鈴木昭体育協会会長の開会のことばがあり、出席された浅妻町長、鳴海議長、宗村教育

長などから来賓のあいさつがありました。続いて、競技と演技が行われます。初めに全団体の準備体操と練習です。さすがに五団体、二百人近い総勢で広い体育館が狭く見えます。

武道祭開会式



で、左足を前に出すところが剣道と違います。次に、松涛館流空手です。突き受け、蹴りの基本技の後、かわら割りを見せてくれました。続く、極真流空手は実践的で、各選手が前蹴りや後ろ蹴りで厚い板を割って、場内から拍手。圧巻は伊藤正四さんの突きと蹴りの連続技でした。

後、西沢秀雄さんが真剣を使った数々の演技に場内は緊張の空気が流れました。各団体とも日頃の熱心な練習の成果を十分に発揮してくれました。そして、閉会式を終了した後全員で体育館の後片づけを行い、第一回黒埼町武道祭は幕とまりました。「来年もやれたらいいですね。」と参加者の声。また、各団体とも老若男女を問わず、入団者を募集中とのことでした。入団希望の方は教育委員会まで連絡して下さい。(☎七二五二二)

いと思います。それから、子供たちを頂かす身としては、もう少し観舞さんにアプターケーアが欲しいですね。私一人ですから。でも、楽しんでますよ。それに剣道だからこの年齢(五十五歳とか)でもやれるんですしね。」と笑っています。総合体育館の練習は、火、木、日の週三日です。中学校の剣道部にも入っているという早木淳子さんと池田江津子さんは、テスト前は休みますが、他はちゃんと出てがんばっています。練習は厳しくて、足の裏に豆ができることもありま



真剣をふりおろす 西沢秀雄さん

銃剣道 連盟

銃剣道連盟(武田武夫会長)は、今年で発足三年目です。メンバーは約六十名ですが、かつて軍隊で習った人がほとんどで、もっかの悩みは会員の高齢化だそうです。

指導の谷内田正一さんも「軍隊で覚えた人が多いですね。他の市町村ではほとんど若い人がやられますけど、うちの方はお年寄りだけですね。もつと若い人がどんどん入って、一緒にやってくるといいんですが」と言っていました。一昨年には本町体育館で、県大会が行われ、昨年はメンバーの一人、田沢昌平さんが団体に出場し

空手 極真流

黒埼町の銃剣道を大いに発展させました。今年も、新潟市の大会に参加する予定とか。毎週金曜日の夜、武道館で練習しています。

極真流(長谷川博会長)は、「実践」をモットーにしています。それは、空手の練習や試合だけでなく、仕事や生活でも目標を持ち実行することです。

会員は、一般や高校生の人が多く現在約三十名。プロのキックボクサーを育てたこともあるという長谷川博さんは、「水曜と土曜に練習してるんですが、ちよつと練習不足ですね。それに、サンドパツ



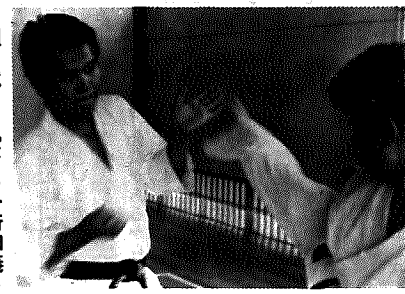
気合とともに割れるかわら

グが使えないのも残念です。でも練習は厳しすぎるといふことはありませんよ。子供や女性にも教えますし、けがをするということも全つくりありません。」と言っていました。

空手 松涛館流

松涛館流(一箭和義会長)の目標は、スポーツである以上は体力向上を当然として、子供はいつでも正座ができ、誰に対してもハイと返事ができるような礼儀作法を教えることです。

一箭和義さんも「練習にくる小中学生には、空手を通して日常生活の言葉遣いとか礼儀とかを教え



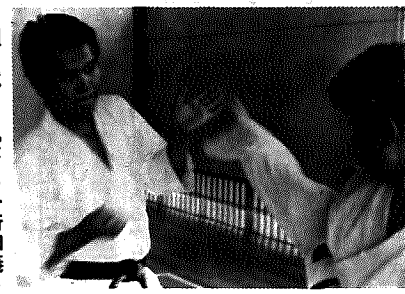
廻し蹴りを受ける一箭和義さん

ていきたいですね。」と言っています。「空手は危くないですか。」との問には、「そんなことは全然ありません。子供たちが元気にやっていますもの。」との答え。会員は、約三十名で水曜と土曜の夜、武道館で練習しています。

柔道 連盟

柔道連盟(渡辺重雄会長)は、現在会員が約五十名、そのうち小中学生が半分以上を占めています。練習は、毎週火曜と金曜の夜、武道館で行っています。

長い間指導にあたられている大橋武さんは、「もう三十年近くやっていますね。たまには引退したいという気にもなりますが、これからはもつとやるでしょう。子供たちが多いのでやりがいもありますしね。武道祭は来年もぜひやりたいと思っています。」と言っていました。ほんとに小さい子供たちも一緒に練習していて、とっても楽しそうに柔道連盟です。



廻し蹴りを受ける一箭和義さん



銃剣道の模範試合